

身体改造とジェンダー——「纏足文化」を中心に

中国では、纏足文化は後進的で既に淘汰された文化である。現代人には理解できない文化のように思える。纏足した足を初めて見たときはショックでいっぱいであったが、これは私に纏足文化に興味を持たせた。周りにも纏足の影響を受けている年配者がおり、それで纏足に興味を持った。しかし、中国だけでなく、世界の他の国々でも、体を改造する行為が行われている。こうした身体改造は女性に多く見られ、それは必ずジェンダー観やジェンダー差別と結びついている。

本論文は纏足が中心である。纏足のいくつかの問題のほかに、纏足と身体改造とジェンダーの関係を研究する。インタビュー法を駆使して纏足者の子孫にインタビューをして理解を深めた。今の社会について私が知っているいくつかの状況を組み合わせて分析する。

古代から現代まで、世界の多くの国では、女性が社会のジェンダー観と男性の審美の要求に応えるため、自分の身体などを改造していることがたくさんある。今、社会の考え方が変わっているにもかかわらず、女性はこうあるべきだという考え方は根強い。この社会は女性に対して固定的な考え方が多すぎ、男女平等の観念を確立するにはまだ道は長い。